

### 1 【活動の趣旨】

「地域の人に学び、地域で生きるわたしたち」をテーマに、「人・もの・地域」との関わりを大切にした『志』の教育活動に取り組んでいる。校区は地域のお宝とも言うべき自然が豊かで、地域の方々や保護者の方々も子どもたちを温かく見守りながら、積極的にこの取り組みに参加・協力いただき、「地域資源」を活かした学習を進めている。

### 2 【特徴的な活動内容】

#### ○志津のお宝発見(3年生)

志津地区にはホタルの生息地が多い。そこで、「草津でホタルを楽しむ会」の代表の方に来ていただき、ホタルの生態や生育環境について映像を使い、クイズを交えたお話をしていただいた。

また、地域にあるバラ園やカーネーションハウスの花作りを見学させていただいたり、ふなずしをつくっておられる会社を訪ねて作業を見学させていただいた。

草津市内に一つしかない企業が地域にあることを知り、地域を誇れる学習となった。

#### ○米作り体験(5年生)

校区にある田んぼを借りて、田植えから稲刈りまでの体験的な学習をさせていただいた。田んぼが学校の近くにあり、田植えから稲刈りまでの稲の生長の様子を何度も観に行くことができた。

収穫祭では、田んぼのお世話をしてくださった方をお招きし、米について自分たちが調べたことを発表したり、新米を炊いて塩おにぎりを作り、一緒にいただいたりする活動をした。

これらのことから、食に対して関心を持ち、感謝の気持ちを持つ活動となった。



【ホタルの生態について学ぼう】



【お米収穫祭】

### 3 【実施に当たっての工夫】

- ・地域ボランティアの方々には、学習活動の趣旨を理解していただくために事前に直接お出合いして、詳細な打ち合わせをした。
- ・活動後には、子どもたちが書いたお礼状や感想文をお渡しして、今後の支援につながるようにしている。

### 4 【事業の成果】

地域の方々から教えていただく中で、子どもたちは自分たちでできることを見つけ、さらに意欲を持つきっかけとなった。

### 5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

- ・ボランティアの方と学校の都合等により、活動に関する日程調整が難しいので、学校の担当者と地域コーディネーターとの綿密な打ち合わせが必要である。
- ・万一の事故を想定して、ボランティアの方々の傷害共済保険への加入が不可欠である。